

「議会基本条例の検証作業に伴う令和3・4年度柴田町議会行動計画」の取り組み結果

A=達成し、十分な成果があった C=達成していない
B=達成したが改善余地あり D=取り組んでいない

改革項目	評価	取組内容												
1. 情報公開のさらなる充実														
柴田町議会独自のホームページの開設	C	現行のホームページを令和3年8月24日にプチリニューアル。 独立したホームページ開設の調査・検討を開始。												
議員全員協議会及び議会運営委員会等のインターネット中継の検討	B	9月・3月会議の際には予算・決算審査特別委員会を、令和3年度12月会議では議員全員協議会を試行的にYouTubeで限定配信した。												
SNS (Twitter、Instagram等) を活用した情報発信の促進	B	令和3年12月4日にInstagramのアカウントを作成し、フェイスブックと連携した投稿を開始。Twitterについては、フェイスブックとの公式な連携ができないことから実施しないことになった。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>(リーチ)</td> <td>(フォロワー)</td> <td>(ページのいいね!)</td> </tr> <tr> <td>Facebook</td> <td>13,070人</td> <td>327人</td> <td>289人</td> </tr> <tr> <td>Instagram</td> <td>1,660人</td> <td>101人</td> <td>※R3.4.1~R5.3.31現在</td> </tr> </table>		(リーチ)	(フォロワー)	(ページのいいね!)	Facebook	13,070人	327人	289人	Instagram	1,660人	101人	※R3.4.1~R5.3.31現在
	(リーチ)	(フォロワー)	(ページのいいね!)											
Facebook	13,070人	327人	289人											
Instagram	1,660人	101人	※R3.4.1~R5.3.31現在											
会議録検索システムの導入	A	令和4年7月1日から会議録検索システムを導入し運用を開始。												
2. 住民参加の促進														
議会懇談会のコロナ禍での開催方法を検討	A	感染症へのリスク軽減を図った開催方法で実施した。 (令和3年度) 一般懇談会は、対面での開催を見送り、タブレット端末を活用して試行的にオンライン(ZOOM)で7月と12月の2回開催した。 団体懇談会は、総務と産業建設の各常任委員会で感染防止対策を講じ対面で実施。文教厚生常任委員会では、タブレット端末とGIGAスクールで環境が整っている小学校長などとオンライン(Google ミート)で実施した。 高校生との懇談会では、参加者数を減らし、柴田高校生徒会役員と感染防止												

改革項目	評価	取組内容
		<p>対策を講じて対面で実施。ワールドカフェ形式ではなくワークショップ形式で行った。</p> <p>(令和4年度)</p> <p>一般懇談会は、感染防止対策を講じて3年ぶりに対面で実施したほか、昨年度に引き続きオンラインでも実施した。団体懇談会は、感染防止対策を講じて対面で実施。高校生との懇談会は、昨年と同様に参加者数を減らし、柴田高校生徒会役員と感染防止対策を講じて対面で実施した。</p>
参加者が意見を出しやすい議会懇談会の開催方法の検討	A	<p>テーマの設定を工夫したり、コロナ禍でも参加しやすいオンラインで開催したり新たなことにも挑戦した。</p>
議会モニター制度の導入検討	C	<p>令和3年度第19回議会運営委員会(R4.1.20 開催)において、亘理町議会で実施している内容を確認した。柴田町議会にあった制度とするため、調査研究を重ねていくこととなった。</p>
3. 議会政策サイクルの定着		
過去の一般質問や委員会調査報告書の追跡、予算・決算時の提言を検証する仕組みの確立	B	<p>令和2年度及び令和3年度の決算審査にあたっては、各常任委員会の調査報告及び各前年度決算に係る提言に対する町の対応を確認した。過去の一般質問に係る追跡については、各議員がそれぞれ行っている。委員会の調査報告や委員会で作成した政策提言の追跡については、3月会議前の所管事務調査で確認を行った。</p>
4. 政務活動費の使途の見直し		
タブレット型端末機の使用機会の増加による政務活動費の適用範囲の見直し	B	<p>カバーやモバイルバッテリー等必要なものについては、次回改選時にタブレットの貸与とセットとする。</p>

改革項目	評価	取組内容
5. 災害時の議会对応の強化		
災害等の種類に応じたBCP（業務継続計画）の策定	A	<p>新型コロナウイルス感染症への対応にあたっては、「議会における新型コロナウイルス対策」を策定し、状況の変化に応じて適宜見直しを行い対応してきた。</p> <p>R4.3.16 に発生した福島県沖を震源とする最大震度 6 強(柴田町震度 5 強)の地震では、柴田町議会災害対策本部設置要綱及び柴田町議会災害対策行動マニュアルを基に対応することができた。</p>
災害情報などタブレット端末を活用して情報共有を行う	A	<p>R3.6.25 に Google チャットを活用した安否確認訓練を実施し、被害状況の写真を共有する訓練を行った。安否確認訓練は、不定期に実施継続している。</p> <p>また、R3.12.17 に災害時に自宅等からオンラインで会議に参加できるよう、全議員が参加したオンライン会議の訓練を行った。</p> <p>R4.3.16 に発生した福島県沖を震源とする地震では、Google チャットにより安否確認を実施したほか、災害対策本部の情報や議会事務局職員が登庁する途中で収集した町の被害状況を写真により共有を図った。</p>
オンライン会議の利用促進と関係規則等の整備	A	<p>令和3年度12月会議で柴田町議会委員会条例を改正。併せて、柴田町議会オンライン会議時の申合せを策定し、体制を整備した。</p>
6. 議会図書室の有効活用		
引き続き町図書館等と連携し、レファレンス機能の強化を図る	A	<p>図書館の司書から、常任委員会の活動テーマに沿った新規購入図書の選書に関する助言や蔵書の整理に関する協力、蔵書のラベル貼り付けに関し協力を貰った。</p>
購入した図書の利活用の促進を図る	B	<p>委員会活動テーマと連携した図書を、図書館と連携して選定した。利用については、令和2年度貸出件数11件(3人)に対し令和3年度は72件(14人)。令和4年度は60件(12人)だった。町職員への貸し出しも実施しているが、利用者が少ない状況である。</p>